



神戸国際大学
キリスト教センター通信
2023年6月6日 第90号

聖霊降臨日(ペンテコステ)に寄せて

チャプレン トマス 河村博之

「あなたがたに平和があるように」

(ヨハネによる福音書 20 章 19 節・21 節)

5 月も半ばを過ぎ、新緑から初夏を思わせる頃になりました。この原稿を書いているわたしは、心身ともに不安定な毎日を送っています。チャプレンの仕事は、学内の平和と安寧のために祈り求めることと、以前、この稿でお伝えしたように思いますが、今年度に入り、置かれた状況の変化に戸惑いを覚えてからというもの、決してよい状況とは言えません。それでも何とか毎日過ごしているのは、「主なる神様が共におられ、わたしを導いてくださっている」という信仰によるものだけです。

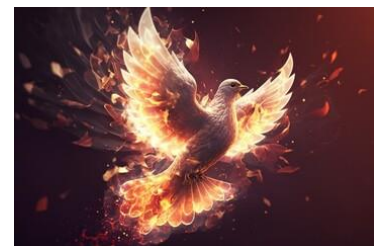
毎年、聖霊降臨日を迎える時、必ず読まれる聖書のことばがあります。ヨハネによる福音書 20 章 19 節～23 節です。イエス様が復活された夕方、弟子たちのいる家に現れ、繰り返し言われたことばが、「あなたがたに平和があるように」なのです。弟子たちは、イエス様が受難・死という無残な有様を知り、類が及ぶのを恐れます。生前、イエス様から弟子のひとりとして寝食を共に暮らし、教えを受けてきたはずでした。一体彼らは、イエス様から何を学び、教えを受けてきたのでしょうか。彼らの信仰はどこへ行ったのでしょうか。何をやっているのか。嘆きの言葉が出てきます。

しかしイエス様は、彼らを叱るどころか、赦されます。「あなたがたに平和があるように」と繰り返し宣べ、彼らの恐れに取りつかれた心を解き放つのです。弟子たちの喜びは、恐れからの解放とイエスを疑った罪の赦しです。

わたしたちの思い煩い、疑い、不安定さが、「平和があるように」というイエス様のことばと思いによって、癒されます。そして、「あなたがたも、そうありなさい。」今を生きるわたしたちに勧めておられることを覚えましょう。

一口メモ

聖霊降臨日(ペンテコステ)：キリスト教三大祭(クリスマス・イースター)のひとつ。その様子は、使徒言行録 2 章 1～13 節にのべられ、これまでユダヤ人とその地方だけの出来事が世界中に広まる様子が描かれています。
シンボルマークとして、鳩と炎が描かれています。



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

